

尾畑酒造(佐渡)含む本県5社

中小企業庁「はばたく300社」

佐渡市真野新町の尾畑酒造が中小企業庁の「2025年度はばたく中小企業・小規模事業者300社」に選定された。1週間の酒造り体験プログラムを通じた日本酒文化の発信や、環境に配慮した酒造りが評価された。

はばたく中小一は経済社会構造の変化に対応し、先進的な取り組みを行う事業者を表彰する制度。今回は本県から尾畑酒造を含む5社が「成長戦略・生産性向上」部門で選定された。

尾畑酒造は14年、第2の蔵として旧西三川小を再生した「学



校蔵」を開設。太陽光パネルによる再生可能エネルギーを導入し、酒造りに生かす。15年に始まった体験プログラムの参加者は今年、累計で26の国・地域から210人に達する見通しで、国内外

の関係人口を生み出している。

授賞式は5月に東京で行われた。平島健社長(61)は「地域活性化への貢献を評価いただき、素直にうれしい。体験プログラムを続けることで島外とのつながりを強め、島にとって少しでもプラスになったらいい」と話した。

本県ではこのほか、セイヒョー(新潟市北区)、ガゾウ(新潟市中央区)、システムスクエア(長岡市)、オークリッチ(村上市)が選定されている。

写真＝表彰された尾畑酒造の平島健社長(左)と、後継者の和田航季さん